④交流スペース

交流スペースでは、テーブルとイスを利用してゆったりと休憩いただけます。

また、町内の観光名所やイベント等を常時、動画で紹介しています。2階にも交流スペースがあり、さまざまなイベントや地域活動での利用が可能です。たくさんの人が行き交う道の駅を、新たな交流の場としてご活用ください。

⑤喫茶・軽食コーナー

最上牛とアスパラガスをふんだんに使った「アスパラコロッケ」と、山形名物の芋煮の味わいを楽しめる「芋煮コロッケ」。どちらもちょっとお腹が空いたときにぴったりです。

また手作りの野菜パンや焼き菓子、ジャムのほか、コーヒー等のドリンクも販売しています。

⑥公衆トイレ ベビーコーナー

公衆トイレは、男女用トイレと多目的トイレの22器を設置しており、いずれも24時間利用が可能です。

またベビーコーナーには、授乳室やおむつ交換台、子供用のトイレを設置しており、お子さん連れの利用に配慮しています。

⑦その他の設備

【駐車場】54台収容
【EV充電施設】電気自動車（EV）の充電用スタンド1基
【非常用電源】非常時に、消防用設備などが正常に作動するための電源装置。
【公衆電話】1台

関連施設・親水空間

「道の駅もがみ」の完成に併せて、最上小国川の川面へと通じるスロープが、県の『河川整備事業』によって整備されました。これにより、安全な親水体験や車椅子での釣りも楽しめるようになりました。

駅長さんにインタビュー

道の駅駅長
菅（かん） 安夫（やすお） さん

当施設は他所と比べてちょっと“小ぶり”ですが、施設のすぐ側を流れる最上小国川の清流と美しい広葉樹林が広がる山々に囲まれており、非常に恵まれた景観にあるのが自慢です。

また「ヤナ茶屋もがみ」やコンビニと隣接しており、民間の商業施設と連携が図れることも特徴です。

オープンして間もないですが、町民の皆様のご指導をいただきながら、スタッフと関係者が一丸となって、親しみやすく魅力ある運営に努めてます。

道の駅もがみ 整備事業の概要

○事業着手　令和4年
○路線名　一般国道47号
○所在地　最上町大字志茂柳ノ原1469−50
○面積　3，139㎡
○施設内容
- 駐車場54台
- トイレ22器
- 情報提供・休憩施設
- 観光案内所
- ベビーコーナー
- 非常用電源
- 公衆無線LAN
- EV充電施設
- 交流スペース
- 会議室

○整備手法　国と町との一体型による整備
○総事業費　3億9，400万円
○指定管理事業者　株式会社大場組

人気商品 アスパラコロッケ 誕生の舞台裏

令和4年、県立農林大学校農産加工経営学科の1年生が、町内産の規格外アスパラガスの活用を研究課題に取り上げ、コロッケやつくね、ポタージュ等の4品目を開発し、町に提案していただきました。

この提案を受け、町では道の駅オープンににむけた商品化開発に着手。町内の食品加工会社やアスパラガス生産団体、JA、物産協会、商工会等の関係者からなる「産業部会」で、試作品の製造や試食会、生産・販売体制確立にむけた検討を重ねて商品化にこぎつけました。

町では、今後も同校との連携による商品開発を行なっていくことしております。

道の駅 もがみ あっつえ Mogami Attsue

オープンから2か月
魅力を徹底解説します!!

道の駅もがみのコンセプトは つなぐ

大動脈である国道47号から「人を呼び込む」ために、町内に点在する豊富な魅力的資源（あるもの）を、最上町独自の情報として発信していきます。

また「最上級のおもてなし」により、町内の各施設や近隣地域に人々を送り出す機能も兼ね備えます。

人を呼び込み、最上級にもてなす仕組みを構築することで、人の流れを町内外へと「つなぎ」ます。

これらをイメージして基本コンセプトを「つなぐ」とし、町内の豊富な魅力的資源（あるもの）を「つなぐ」道の駅を目指します。

基本方針① **たのしい** をつなぐ ＋ 基本方針② **やさしい** をつなぐ ＋ 基本方針③ **おいしい** をつなぐ

▲令和5年11月26日に行なわれた道の駅もがみオープン式典の様子